

学校規模等適正化に関する説明会（樟葉北小学校）における質疑回答

1. 日 時 平成 28 年 7 月 17 日（日） 午前 10 時から午後 12 時 40 分まで
2. 場 所 樟葉北小学校 体育館（参加者 85 名）
3. 事務局 管理部：俣野参事、益田参事、兼瀬課長、北村主幹、松尾代理、田中主任、廣瀬
4. 内 容

（質問 1）

学校統合にあたって「十分な説明を行い、理解と協力を得ながら進める」という点に、「地区の合意をもって」を加えていただきたい。また、メリットデメリットのそれぞれの評価項目に比重を設けて検討して欲しい。

（回答 1）

学校統合については、校区コミュニティ協議会や P T A の合意をもって、十分にご理解とご協力を得ながら進めてまいります。また、審議会では、小規模校のメリットデメリットの評価については、ご指摘の観点での検討はされていません。

（質問 2）

樟葉小の建物の建築年度、築年数を教えて欲しい。統合した場合は、新しい施設にして欲しい。また、体育館を 2 階建にすれば多目的に使える。

（回答 2）

樟葉小は昭和 38 年創立で、最も古い教室は築 53 年が経過しており、樟葉北小は昭和 58 年創立で、築 38 年が経過しています。また、統合校については、校舎整備が前提となり、エレベーターの設置等バリアフリーについても、計画的に実施すべきと考えています。

（質問 3）

校区割りについては、抜本的な解決にならないという回答をしているが、樟葉北小の設立当時の校区割りのままであるの見直して欲しい。

（回答 3）

審議会では、基本的に校区の分断を行わないことを前提に検討しています。しかしながら、教育委員会として当該校区については、一定の課題があるものと認識しています。

（質問 4）

国から方針が出たので、統合を検討することになったのか。また、樟葉北小が対象校となった根拠を示して欲しい。5 つの視点からの検討では、樟葉北小を樟葉小へ統合する理由が全く見えない。

（回答 4）

学校統合の検討については、人口減少や少子化が進行する中で、枚方市として将来の適正な学校規模等について、審議会に諮問したものです。また、学校統合について検討の対象とする学校につきましては、現在または平成 35 年度までの推計において、小規模となる小学校および中学校で、平成 55 年度までの将来推計においても、児童生徒数の増加により、

適正規模の範囲内になる見込みがないことを要件としています。

(質問 5)

本日の意見などを含めて、再検討していただけるのか。答申の内容は決定なのか。

(回答 5)

本日の説明会は、答申の内容を適切に説明するとともに、今後、学校規模等の適正化に関する基本方針を取りまとめるにあたり、皆様から様々なご意見をいただくことを趣旨とするものです。

(質問 6)

校区変更をしたらどうか。先進国の多くでは、小規模校できめ細かい行き届いた教育がなされている。

(回答 6)

審議会では、校区を分断しないことを基本に検討されてきましたが、校区の見直しについては、課題として認識しています。

(質問 7)

大規模災害の特に津波の件について聞きたい。地形上から、樟葉北小の方が高地にあることも一つの判断材料になるのでは。統合後の跡地のビジョンも示していくべきだ。

(回答 7)

適正化方策の検討項目の中に、“防災・防犯”に関する項目もあり、重要な要素の一つとして検討が行われています。また、跡地の活用については、敷地の一部を売却し、学校整備費に充てることも選択肢の一つとして考えられます。避難所の在り方等、全庁的な取り組みとして皆様方のご意見をお聞きしながら検討していく必要があるものと考えています。

(質問 8)

何メートルの津波で、どの地域なら大丈夫なのか。その視点では樟葉北小の方が有利なはずだ。

(意見 1)

樟葉北小は津波が 5 m 以上でも浸からない。樟葉小は 2 メートルから 5 メートルで浸かってしまう。枚方市の防災マップに載っている。また、津波が淀川を上ってきた場合、避難所としても地形はとても大事。

(回答 8)

洪水ハザードマップに示される浸水深さについては、「下水道浸水軽減総合計画」の中で、一定の浸水軽減は期待できるものと考えています。

(質問 9)

統合するなら、樟葉北に樟葉小を統合したらいい。あるいは、校区変更をして樟葉小の校区の一部を樟葉北小へ編成すべき。

(回答 9)

校区の見直しについては、課題として認識しています。

(質問 10)

学校統合すると、児童に対して目が行き届きにくくなるというデメリットもあるので、小規模が理想である。人数の少ない小規模校での教育をしていただきたい。

(回答 10)

本市では、1年生から4年生までを少人数学級編制とし、国に対して更なる少人数学級の推進に関する要望を行うとともに、支援学級の児童をダブルカウントするなど、枚方市独自の施策を行っています。

(質問 11)

スケジュールについて具体的に教えて欲しい。また、樟葉小へは統合に関する意見を求めているのか。

(回答 11)

今後のスケジュールに関しましては、説明会において皆様のご意見をいただき、学校規模等適正化基本方針を取りまとめていきたいと考えています。また、実施時期については、平成40年度以降を想定していますが、その際には、実施プランを作成するとともに、(仮称)統合協議会を設置していただき、概ね3年をかけて統合に向けた課題について、協議・検討が行われるものと考えています。また、統合先の学校へは、必要に応じて意見を聞いてまいります。

(質問 12)

統合に関する意思決定は、誰がどのように決めるのか。

(回答 12)

今後は、地域の声を聞きながら、市の方針を取りまとめていくこととなりますが、反対意見の多い中で取り組みはできないものと考えています。児童生徒数の将来推計を見定めることにはなっていますが、引き続き、ご理解とご協力が得られるよう十分な説明を行ってまいります。

(質問 13)

合意はどのようなプロセスで行うのか。例えば住民投票をするのか。また、今日出た意見や回答については、ホームページに掲載していただきたい。

(回答 13)

合意形成のプロセスについては、(仮称)統合協議会の設置が前提となりますが、校区コミュニティ協議会やPTAと協議させていただくことになるものと考えています。また、会議録の公表については、賛否もあり現時点では予定しておりませんが、本日の内容をどのような形で共有するのかについては、改めて相談させていただきます。

(質問 14)

統合に関しては、さまざまな課題があるが、将来的に必要と考える。しかしながら、なぜ樟葉小の敷地に統合しなければならないのか。また、通学路の安全面などについてもどう考えているのか。さらに、適正な学校規模は、いつから決まったものなのか。支援学級

在籍児童のダブルカウントはいつから始まったのか。

(回答 14)

文部科学省が学校規模の適正範囲を 12 学級から 18 学級と定めていますが、枚方市においては、平成 19 年 7 月に 24 学級までを適正範囲の上限としています。また、校区が広がることによる安全面については、保護者や地域の方々へのご協力を更に拡充して頂きますよう、お願いしなければならないと考えています。支援学級のダブルカウントについては、3 年生までを少人数学級とした際に実施しています。

(質問 15)

国の政策の中で出生率を上げようという取り組みがあるが、答申に反映されているのか。

(回答 15)

定住人口確保策や人口誘導策については、今年度より全庁的な取り組みとして、様々な観点から検討を行っていますが、答申の方策には反映されていません。ただし、今後、予測を超える事態が生じた場合には、教育委員会において、適切に対応することとされています。

(質問 16)

中之芝地区で住宅が 30 棟ほど売却されるということだが、児童推移に反映されているのか。

(回答 16)

当該地区の住宅数は、児童推移には見込んでいません。

(質問 17)

校区コミュニティ協議会はどうなるのか。統合となった場合、樟葉北小の校区コミュニティ協議会の存在はどうなるのか。

(回答 17)

校区コミュニティ協議会に関しましては、小学校区が基本となるため、仮に統合された場合には、新たな校区に基づくものと考えています。しかしながら、その実施時期などについては、それぞれの校区コミュニティ協議会で検討されるべきものと認識しています。

(質問 18)

統合協議会に樟葉北小の校区コミュニティ協議会の代表者は入るのか。

(回答 18)

参画していただくものと考えています。

(質問 19)

13 年後までは、樟葉北小はこのままであると聞いたが、間違いはないか。

(回答 19)

現時点における児童生徒数の推移では、平成 40 年度以降であることが予測されています。

(質問 20)

議事録は作成すべきだ。議事録をお互いに確認し、正しい内容か確認させてもらいたい。説明会を開いた義務だと思うし、地域の合意をもって進めるとあった。

(回答 20)

説明会の内容をどのような形にして皆様方と共有していくのかについては、校区コミュニティ協議会やPTAと協議させていただいたうえで、決めさせていただきます。

(質問 21)

学童保育について全く触れられていないが、統合された場合、両校で150人の学童がいるのに、全員受け入れることができるのか。また、樟葉小の通学路の安全性については、危険箇所があるが早急に対応して欲しい。

(回答 21)

留守家庭児童会については、新しい学校を整備する際に、入室を希望される児童を全て受け入れる施設を整備するよう考えています。また、通学路の安全性については十分に確保していく必要があるものと考えています。

(質問 22)

今年度PTAにおいて、樟葉北小の将来を考える会を立ち上げた。これから樟葉北小校区内で人口を増やす取り組みをしていく際に、平成40年度を目途に樟葉北小がなくなるといわれてしまうと困る。市の公約施策の一翼を担う努力をしたいと考えているので、市もバックアップするようお願いしたい。

(回答 22)

行政で取り組むべき施策を地域の力で担っていただくことに関しては、ありがたく思っています。また、人口誘導策については、地域の方々と情報共有を図りながら行っていく必要があるものと考えています。

(質問 23)

これから一体どうなるのか。条件が今より良かったら、統合もいいという方向に動くと思うが、悪い方ばかりが出ている。また、市議会へはこの内容を報告しているのか。

(回答 23)

今後は答申の内容をお伝えした際に、皆様に頂いたご意見等を踏まえて、市の方針を取りまとめしていくこととなります。また、市議会への手続きに関しましては、市の方針を報告していく予定です。

(質問 24)

意思決定のプロセスを明確にして欲しい。また、説明会の議事録は作成して公開して欲しい。住民側の意見とそれに対する回答のプロセスが明確化するようにしていただきたい。

(回答 24)

意思決定のプロセスについては、校区コミュニティ協議会やPTAと協議させていただく必要があるものと考えており、その後、各学校ごとの統合の実施時期や方策などについ

ては、改めてご意見を伺い、「実施プラン」として方策を策定します。また、議事録の公開についても協議させていただきます。

(質問 25)

私はこの答申案には賛成できない。どの子にも基礎学力を保証する教育条件から統合は逆行しているように思う。統合すると禍根を残すことになる。子ども達の目線に立って、また、子育て中のご両親の声も重要視して欲しい。また、人口を増やしていく上で、10年先に学校がなくなる前提の話だと、地域の人口増加にはつながらないので、それを勘案して方針を出していただきたい。

(回答 25)

本日の説明会は答申の内容を適切に説明するとともに、今後、基本方針を取りまとめるにあたり、皆様からさまざまなご意見をいただくことを趣旨とするものです。今後も引き続き十分な説明を行い、保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら進めてまいります。